



社会福祉法人 **希望の家**

自立支援センター ほのぼの
障がい者デイサービスセンター のびのび

— **希望の家のあゆみ** —





社会福祉法人 希望の家

代表理事 石 田 實

昭和63年9月に初代所長 桝潟氏（故人）のご尽力で開所以来、23年の
長い時間が過ぎてまいりました。この度、念願でありました新施設の完成に、
利用者及び役職員一同大きな喜びに包まれています。

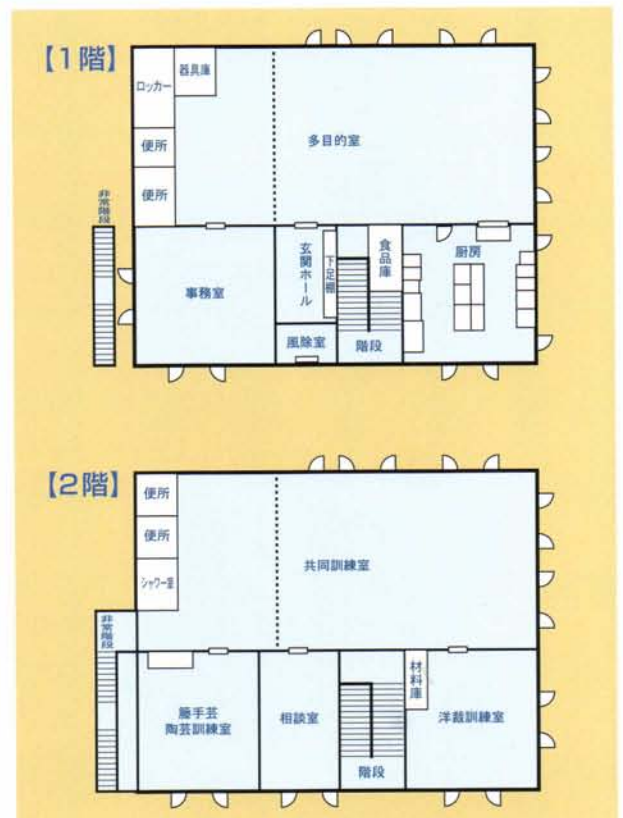
5名の利用者からスタートした共同作業所が、NPO法人、社会福祉法人
へと無我夢中で歩んできました。この間私共を支えて頂いた多くのボランテ
ィア、地域の方々、関係機関の方々の温かいご支援ご協力に深く感謝申し上
げます。

平成18年自立支援法施行により措置制度から契約制度へと移行し、利用
者や家族のニーズの多様化に制度がついて行けず充分お応えできない現実も
ありますが、これまで以上に利用者となりを合わせ、役職員一同さらに研鑽を
重ね、より良い施設運営を目指してまいります。

今後とも地域の皆様、関係機関の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いし
てご挨拶とさせていただきます。

施設の概要

- ①設置主体 根室市手をつなぐ親子の会
- ②施設名 社会福祉法人 希望の家
- ③名称 自立支援センター ほのぼの
障がい者デイサービスセンター のびのび
- ④所在地 根室市駒場町1丁目31番地1
- ⑤事業開始 昭和63年9月
- ⑥電話 0153-24-3934
FAX 0153-24-3954
- ⑦敷地面積 841.83㎡（市有地）
- ⑧施設構造 鉄骨造2階建
- ⑨施設面積
【1階】 264.99㎡
事務室（40.58㎡）、
多目的室（130.01㎡）、
厨房（38.86㎡）、
トイレ2箇所（8.28㎡）、他
【2階】 264.99㎡
共同訓練室（134.15㎡）、
手芸・陶芸訓練室（34.78㎡）、
相談室（23.19㎡）、
洋裁訓練室（36.13㎡）、トイレ2箇所（6.95㎡）、
シャワー室（4.64㎡）、脱衣室（3.31㎡）、他



◎受託事業

根室市地域活動支援センター きらきら

根室市資源再生センター

住所／根室市駒場町1丁目36番地

電話（FAX）0153-24-8286

住所／根室市幌茂尻77-2

電話（FAX）0153-24-8091

1 階



事務室(40.58㎡)



多目的室(130.01㎡)



厨房(38.86㎡)



トイレ 2 箇所(8.28㎡) 他

2 階



共同訓練室(134.15㎡)



手芸・陶芸訓練室(34.78㎡)



洋裁訓練室(36.13㎡)



相談室(23.19㎡)

社会福祉法人 希望の家のあゆみ

年 月	主 な 履 歴 と 活 動	体 制	通 所 者
		ボランティア	
昭和63年9月1日	桙潟氏（初代所長）を中心に、旧根室市精神薄弱者育成会が、駒場町1丁目33番地にて、市から教員住宅跡を借り受け5名の通所者で開設（前身となる）。 根室市福祉共同作業所希望の家	—	5
平成5年	桙潟氏が病気で倒れられ、2代目所長守輝志氏（故人）も高齢で倒れられ、廃所の危機を当時社会福祉協議会の局長西田得意氏（故人）のご尽力で、3代目所長袴谷憲龍氏（故人）が就任し新体制でスタート。（週3日間開所） その後、藤根元吉氏（現施設長）引き継ぐ。 干野千恵子氏ボランティアで参加。新聞回収・有機肥料ぼかし作り始める。	2	4
平成6年	藤村美津子氏ボランティアで参加。	3	5
平成7年	椎茸栽培始める。	3	4
平成8年	4代目所長に共同募金会会長だった石田實氏が就任	3	4
平成9年	ビニールハウス設置（野菜作り開始）。 編物、布製品作り始める。	3	6
平成10年	通所者の増員で市のご理解を得て、旧つきみ保育所跡地に移転。 油屋トミさん（現在91才）がボランティアとして参加。 不定期のボランティア増える	3	7
平成11年6月	道の施設設置基準を満たしⅡ型Aランクの共同作業所として再スタート、外部委託事業等（包装資材）を受け作業内容の充実を目指す。（週5日開所）	3	8
平成12年	花苗栽培始める。	3	9
平成13年	花ちゃんスタンプ会・土曜市参加。	3	10
平成14年	恒例となる季節商品作り始める。 （クリスマスツリー・リース作り等）	3	14
平成15年4月	支援費制度スタート（民間運営から法人化の必要性）	3	16
平成15年10月	地域での自立支援を目的に特定非営利活動法人の申請を道に提出。 （理事10名で設立準備委員からスタート）		

社会福祉法人 希望の家のあゆみ

年 月	主 な 履 歴 と 活 動	体 制				通 所 者
		職 業 指 導 員	嘱 託 員	パート 員	ボラン ティア	
平成16年 2 月	特定非営利活動法人（N・P・O）希望の家として設立を果たす。	3	—	—	—	18
4 月	希望の家施設内に定員10名の知的障がい者デイサービスセンターのびのびを開設（支援費制度認可施設） 但し、精神障がい者は支援費制度対象外なので作業所 希望の家も継続して運営（定員10名）	3	—	—	—	18
5 月	障がい者雇用への、市・市議会・市民の方々の理解を得て資源再生センターの業務委託を受け、本格的障がい者雇用への第一歩を歩み出す（6名の雇用） 木工品製作開始	4	5	—	—	18
平成17年 4 月	資源再生センター2年目の業務受託・デイサービスセンターのびのび定員15名・作業所定員10名 陶芸製品作り始める。希望の家だより（月1回）発行	5	5	—	—	24
平成18年 4 月	資源再生センター3年目の業務受託 障害者自立支援法施行（移行期間として6ヶ月間）	6	5	—	○	24
10月	精神障がい者も含めた自立支援法本格施行 自立支援センターほのぼのの定員20名 （就労継続支援B型） 障がい者デイサービスセンターのびのび定員12名 （日常生活訓練） （新たな就労場所探しのために喫茶のびのび開店） （喫茶店で通所者の作品を販売）	6	5	4	○	32
平成19年 4 月	利用者増 自立支援センターほのぼのの定員30名 （就労継続支援B型） 障がい者デイサービスセンターのびのび定員18名 （日常生活訓練）	8	6	6	○	45
平成20年 4 月	藤手芸製作開始 利用者増 自立支援センターほのぼのの定員30名 （就労継続支援B型） 障がい者デイサービスセンターのびのび定員24名 （日常生活訓練） （新たな就労訓練の場として第2ほのぼのを設置）	10	6	3	○	47
平成21年 4 月	利用者増 自立支援センターほのぼのの定員30名 （就労継続支援B型） 障がい者デイサービスセンターのびのび定員24名 （日常生活訓練）	10	6	3	○	49
10月	利用者増 自立支援センターほのぼのの定員36名 （就労継続支援B型） 障がい者デイサービスセンターのびのび定員24名 （日常生活訓練） 社会福祉法人 希望の家設立準備委員会を設置申請開始（10月9日）	11	6	3	○	49
平成22年 1 月25日	社会福祉法人 希望の家認可	11	6	3	○	49
2 月 3 日	社会福祉法人法人登記終了 →評議員会で役員選任決議後選任登記で完了					

原市長に協力求める

[illegible]

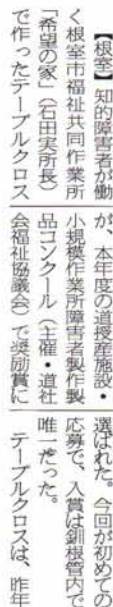
市内の授産施設・希望の家（石田美所長）で昨年に続き今年もウニケースのシール貼りの作業が今月八日から始まった。市内の商事会社からの注文に応えたもので、昨年は約二十万円の収入があった。運営費の捻出に悩む施設にとってはこのような好い仕事の注文で、施設に通う障害者も根を詰めて作業に精を出している。	希望の家は心身に障害を持つ人々に技術を身に付けてもらい社会に巣立つための施設。対象者は月曜日から金曜日までの毎日、施設に通い牛乳パックを利用したばかり作や廃品回収の作業に励んでいる。昨年は運営費の捻出に悩んでいるのを知った市内の田辺ウニのケースの作業をする希望の家の対象者。
---	---

ウニ ケース

市内の商事会社が好む
6人の通所者

今年もシ

小倉さんのテーブルクロスで



が、本年度の道授産施設・小規模作業所障害者製作製品コンクール（主催・道社会福祉協議会）で奨励賞に選ばれた。今回が初めての応募で、入賞は銅根管内で唯一だった。

テーブルクロスは、昨年



奨励賞を受けたテーブルクロスと、製作者の小倉さん
(前列右から2人目)ら希望の家のメンバー

六倉から同席し、通う市内町町の小倉優さんごが製作した。縦横各一茶の正方形で白布に赤、茶、ビワク、黄の四色の糸でミックス・マウフなさを刷しあしらった。

小倉さんは「みんながいたからできた」と感謝し、石田所長は「次の製品をつくる意欲につながる」と感激している。摩徳元吉指導員も「市内在、能力のある人があま埋もれているはず。そろした人材を生かせるようにしたい」と話している。

コンクールは十三回目。個人には各事業所単位で競う。今回は全道から約九千十人が集まり、道知事賞になった毎町の授産施設の製品が十点が入賞した。

ある出会い

知的障害を持つ一人の女性から「高校時代に陸上競技大会の百円賞入賞した時の感激が忘れられない。ぜひ全道大会に出場したい」と相談を受け一時辞退したが、熱意にはだされ指導を引き受けた。2時間の週2回、筋力トレ、ス

トレッチ、ランニングの厳しい特訓が始まった。途中で挫折するかと思ったがついに3カ月の特訓に耐え大会に臨んだ。当日現地に連絡が入った。「お陰で優勝しちゃった。みんな涙を流して喜んでくれた」電話の奥からその雰囲気伝わってくる。翌日報告に来た彼女の目は澄んで輝いていた。

志和秀春
(根室体育協会会長)

根室新聞掲載

平成15年12月9日(火曜日)

根室新聞

家具など求めにぎわう

設立「希望の家」がバザー開く
15周年

今年設立十五周年を迎える根室市福祉共同作業所「希望の家」(田中実所長)が、12月9日(火曜日)に、旧つきみ保育所跡Ⅱで、このほど、設立十五周年を記念したバザーが開かれ、格安家具などを求めた市民でにぎわった。

バザーは「施設の活動費の一部」と市民から寄付された大型家具や電化製品、各種バザーで販売した

好評だった希望の家の設立十五周年記念バザー



根室新聞：平成15年12月9日

根室新聞：平成22年3月9日

希望の家に 5台目の送迎車 日本財団からの補助で

社会福祉法人として再入会した希望の家は、日本財団からの補助で、5台目の送迎車を導入した。この送迎車は、旧つきみ保育所跡Ⅱで、このほど、設立十五周年を記念したバザーが開かれ、格安家具などを求めた市民でにぎわった。



希望の家の送迎車は、日本財団からの補助で導入した。この送迎車は、旧つきみ保育所跡Ⅱで、このほど、設立十五周年を記念したバザーが開かれ、格安家具などを求めた市民でにぎわった。

市資源再生センターの運営

NPO「希望の家」に委託へ

障害者雇用促進に市長が方針

根室市市長は、21日開所準備を進めている根室市資源再生センターの運営を、市民生活・労働政策を目的とする特定非営利活動法人(NPO)「希望の家」に委託する方針を明らかにした。市内で障害者の雇用を促進するだけでなく、障害者の生活の場を確保する。他市町の類似施設の運営等が業務可能な「希望の家」に、根室市が今年1月に決定した市に委託する方針を明らかにした。

5月6日に開所式を予定

市資源再生センターは、市内で排出される資源物を不燃物処理施設に搬入し、ダンボールを資源物化するもので、市では、現在、市民生活・労働政策を目的とする特定非営利活動法人(NPO)「希望の家」に委託する方針を明らかにした。市内で障害者の雇用を促進するだけでなく、障害者の生活の場を確保する。他市町の類似施設の運営等が業務可能な「希望の家」に、根室市が今年1月に決定した市に委託する方針を明らかにした。



根室新聞：平成16年4月22日



手作業の労作
6施設が販売
HOLMES
【中継】根室管内の障害者通所施設の製品を展示即売会「第6回HOLMES」が20日、東武サウスビルズで始まった。根室市と中標津市、両市から6施設が参加し、手作業で作った飾り台、手袋、品を並べた。手作業が光る労作ばかりで、買の障害者が熱心に選んでいった。焼きだてのパンも人気だった。

北海道新聞：平成21年6月20日

新聞で見る 希望の家のあゆみ

根室新聞：平成23年 1 月28日



31日で喫茶「のびのび」営業を終了
市民の支えに感謝 希望の家
社会福祉法人・希望の家
（石田理事長）は、旧みどりの集子館で運営する自立支援センター「のびのび」が自立支援の取り組みで、喫茶「のびのび」の営業を31日で終了する。2月1日からは不用品バザーを3月中旬まで開催。3月1日以後は、希望の家に移転する。希望の家では、4年半の活動だったが多くの市民に支えられ感謝している」と話している。

「のびのび」は、希望の家の自立支援センター「のびのび」は、旧みどりの集子館で運営する自立支援センターに入居し、支援員が指導し、利用者自身が活動を行う。喫茶「のびのび」は、希望の家の自立支援センター「のびのび」の一角として、希望の家の職員が運営していた。喫茶「のびのび」は、希望の家の自立支援センター「のびのび」の一角として、希望の家の職員が運営していた。喫茶「のびのび」は、希望の家の自立支援センター「のびのび」の一角として、希望の家の職員が運営していた。

障がい者デイサービスセンター のびのび

【根室】市内二つの障がい者通所施設を運営するNPO法人「希望の家」（石田理事長）が、近く、社会福祉法人化する。公的機関が受けやすくなる利便性をし、新施設を建設。既存の3施設の機能を集約し、利用者の利便性を向上させる。（金坂也）
希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。近づくにつれて、希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。近づくにつれて、希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。

「希望の家」機能集約へ 近づく社会福祉法人化 6月に新施設着工



根室新聞：平成23年 2 月 1 日



喫茶のびのびで最後の晩餐会
常連客有志が主催
「のびのび」が閉店するにあたり、常連客有志が主催する最後の晩餐会が、希望の家の喫茶「のびのび」で開催された。参加者は約20人、和やかな雰囲気の中で、希望の家の活動について話し合った。希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。近づくにつれて、希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。

北海道新聞：平成22年 2 月 5 日

根室新聞掲載：平成23年 2 月30日

ボウリング大会を開催 第4回石田杯

NPO法人希望の家（石田三）で「第4回石田杯ボウリング大会」は18日、パシフィックホテル根室（花咲）で開かれた。参加者は約20人、和やかな雰囲気の中で、希望の家の活動について話し合った。希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。近づくにつれて、希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。



ボウリング大会を開催
第4回石田杯
NPO法人希望の家（石田三）で「第4回石田杯ボウリング大会」は18日、パシフィックホテル根室（花咲）で開かれた。参加者は約20人、和やかな雰囲気の中で、希望の家の活動について話し合った。希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。近づくにつれて、希望の家は、障がい者（信用度が高く、建て替えて移転を決め、1月25日、NPO法は2月1日より施行される）を支援する。

資源再生センター部門事業

年 間 確 定 事 業 内 容	業 務 日 数	備 考
資源再生物の受入・計量業務	月曜日～土曜日	・ダンボール
資源再生物の受入・計量業務データの集計 及び集計管理業務	月曜日～金曜日	・空き缶 (スチール缶・アルミ缶)
再生資源物の分別・梱包		・ペットボトル
資源再生センター内外の清掃 及び衛生施設関係の除雪作業		
その他上記に関する一切の業務 (見学者の受入業務)	随 時 対 応	・行政関係者 ・市政ウォッチング等
運転管理日数の提出	月曜日～金曜日	
委託業務完了届け及び業務完了内訳書	毎 月 終 了 後	
設置機械・車輛の保守点検	必 要 の 都 度	

※平成22年10月より分別対象品目の拡大(雑瓶・廃プラ・発泡・雑誌・新聞・雑誌)

容器類の仕分 (空缶・ガラスビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装・発泡トレイ)

紙類の仕分（雑誌・カタログ・新聞・チラシ・紙パック・その他雑誌）

【施設運営形態】 ※休 日：日曜・祝日・年末年始（12月31日～1月3日）
※勤務時間：午前8時～午後5時（土曜日は受入のみ）

【人 員 配 置】 ※機械・車輛等運転作業員：3名 (55歳以上)
※分 別 作 業 員：6名 (障がい者)
※管 理 兼 務 事 務 職 員：1名
※分 別 作 業 補 佐：1名 (55歳以上)

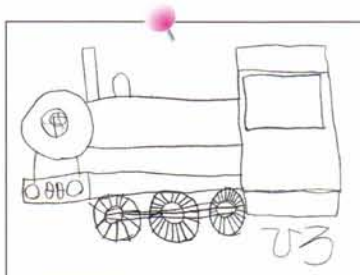
ほつれ木望家に來て20年
成ります。この院を良院とした
ほつれ登びはん染しめひす
お仕事はホカシ、ミハカヤ作り
をして、おたのしみ、おハカヤツリ
をして、お。

渡辺智晴

かしこ希望の家においし
 かったです。おしるの
 びん、りんご料理を
 食べて、とてもおいし
 かったです。みなさんと
 おともだちで遊んで
 とてもうれしかったです
 まで、よくおわ
 りました。
 菅原、千江子

社会福祉法人 希望の家 1年間の行事・作業内容

月	参 加 行 事 等	施 設 独 自 事 業 等	
		自立支援センター ほのぼの	デイサービスセンター のびのび
4	*根室市一斉清掃参加		
5		*温室ビニール張り作業・園芸野菜育成作業開始 (5月～10月)	
6	*はなちゃんスタンプ土曜日参加 (6月～10月／第2・4土曜日)	*潮干狩り *中標津東武HOT HOT参加	
7	*全道障害者スポーツ大会参加予定	*森の家つどい参加	
8	*福祉団体スポーツ交流会参加	*トラック市参加	
9	*根室市健康まつりふれあい交流会参加	*療育研修旅行	
10	*「赤い羽根」街頭募金参加予定(10／1) *管内事業料理教室参加	*別当賀キャンプ体験 *根室市産業フェスティバル参加	
11	*市内障がい者団体合同レクリエーション参加	*中標津高等養護学校祭バザー参加予定	
12	*管内障がい者スポーツ体験活動参加	*餅つき&クリスマス会 *施設内大掃除	
1	*福祉団体新年交流会参加	*除排雪作業 *災害避難訓練	
2		*除排雪作業 *節分豆まき *石田杯ボーリング大会	
3			
毎月 確定 作業	*包装資材作業 *再生資源回収整理梱包作業 *陶芸作業 *手工芸品作成 *木工作業 *園芸作業 *パソコン指導 *電算機指導 *縫製作業指導 *買物訓練 *市役所バザー開催 *スポーツ体験指導 *ラジオ体操指導		





平成8年5月：中標津“森の家”



平成12年9月：ウトロ



平成19年10月：るべしベ 果夢林

質の高い作業に感心

根室の福祉共同作業所の一行

標茶の授産施設を見学

【標茶】根室市内の福祉共同作業所「希望の家」の一行が十三日、標茶町の小規模授産施設「コスモス」を見学した。

希望の家は、十年ほど前足をはき、



コスモスの製作現場を、希望の家の一行が視察した。コスモスの作業員は、希望の家の通所者で、希望の家の一行が視察した。コスモスの作業員は、希望の家の通所者で、希望の家の一行が視察した。コスモスの作業員は、希望の家の通所者で、希望の家の一行が視察した。



平成10年6月：多和平



平成5年：西田得意氏と



平成16年4月：ほのぼの玄関前

料理



平成19年10月：根室二・ホ・口



平成11年9月：中標津



文化



平成21年10月：習字

スポーツ



平成11年11月：標津



平成15年10月：別海

仮装行列



平成19年7月：仮装行列

ふれあい交流会



平成8年10月：文化会館

キャンプ



平成19年9月：夢原館



平成19年9月：夢原館



平成19年9月：夢原館



平成18年12月：イルミネーション



平成19年6月：明治公園植樹



平成19年6月：潮干狩り春国岱



平成21年12月：もちつき&クリスマス会



平成21年12月：もちつき&クリスマス会

お花見



平成21年 5 月：清隆寺



平成21年 5 月：おさんぽへ（花見）



平成19年 6 月：蓆採り



平成19年 6 月：蓆の皮むき

作業風景



平成 8 年10月：ふれあい準備



平成22年 4 月：ボランティアの油屋トミさん
90才のお誕生日



平成20年：籐手芸



釣り同好会



平成22年 2 月：風蓮湖



平成22年 2 月：風蓮湖



平成22年 1 月：希望の家よさこい踊り隊



平成19年10月：花咲港



平成19年10月：花咲港

バドミントン部
会員募集!!



山の会



平成21年10月：藻琴山頂上(1,000m)



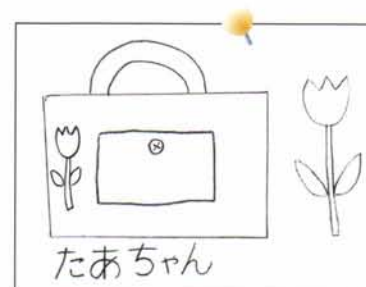
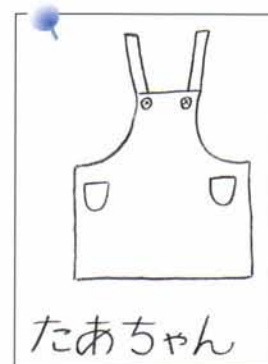
平成22年 7 月
黒岳頂上(1,984m)



平成22年10月：白湯山頂上(820m)

社会福祉法人 希望の家 手づくり製品案内

種 類	製 品
食 品	・シフォンケーキ（ホール、カット） ・チーズヨーグルトケーキ（ホール、カット） ・ほたての耳のつくだ煮 ・かつお節と昆布のつくだ煮 ・お弁当
紙 製 品 (牛乳パック製品)	・葉書 ・椅子 ・ママパック入れ ・しおり ・名刺 ・御祝儀袋 ・その他
編物製品	・靴下 ・カバー ・たわし ・その他
裁縫製品	・エプロン ・布巾 ・ランチョンマット ・コースター ・ティッシュ入れ ・ティッシュケース ・ポーチセット ・テーブルセンター ・のれん ・お手玉 ・バック ・腰ひも ・タペストリー ・その他 ※デザインいろいろ有り
籐 製 品	・かご ・タオルかけ ・小物入れ ・鍋敷き ・その他
陶 製 品	・皿 ・コーヒーカップ ・小鉢 ・箸置き ・その他
木工製品	・園芸用品（鉢、椅子） ・その他



小物雑貨



籐工芸品



クッキー



陶 芸 品